



第13号 平成17年 11月1日

新会社の船出に思う

高須 武男 (昭和43年卒)



9月29日に、バンダイとナムコが経営統合して新持株会社「(株)バンダイナムコホールディングス」が設立され上場されました。5月2日に社内外に発表してから約5ヶ月の準備期間でした。短い時間でしたが、嬉しかったのは両社の若い社員が「新会社のあるべき姿!」を本心に真剣に議論してくれたことです。そして新会社は殆ど彼らの構想の線に落ち着きました。彼等の気持ちの中に、今回の経営統合が上層部からの単なる命令ではなく、実は「自分たちも望むこと!」というのがあったからでしょう。そして、今回の経営統合作業の中で、両社の若手社員の皆さんはたくさん仕事を学んでくれたと思います。

うテーマで社員から提案を募集しました。両社グループ各社から約2500点の応募があり、これから審査して優秀作品は本人に「実行・実現」して貰おうと考えています。私はこの経営統合の成功の鍵は現場レベルで両社のコラボレーションが如何に早く進むかだと思っています。「夢・遊び・感動」を提供し、「世界で最も期待されるエンターテインメント企業グループ」を目指して、いよいよ新生バンダイナムコグループの船出です。

同窓会情報

〇〇五会

伊東克己(昭和23年卒)

一〇〇五会(戦後会)は昭和21年・28年卒業の英語会員の会です。「私も会員のはずだが何連絡が来ない」という方は、「T188-0063 杉並区和泉四一三八-四 伊東克己」までお申し越しください。

一〇〇五会は11月12日(土)新宿中村屋で午後1時から例会を行ないます。出席すると元気が出て若返ります。

一〇〇五会は「文集」第4号を作成中です。文学作品から老いの繰言まで、興味津々の寄稿満載。配布は会員限定、例会席上です。

ドラマセクション出身俳優、四季の丹泰子さんや文学座の内野聖陽君を応援しましょう。勿論ESSのドラマも。

WEISSでは三年生の時、五役(会計担当)をやらせて頂きましたが、英語には随分苦労した思いがあります。言葉というのは背景にある「文化・教養」が大事であって、勉強不足から会話には随所で行き詰まる体験をしたような苦い思い出があります。逆に「日本語!」なら何とかなるという「自信」をWEISSの活動を通して得たような感じもします。今でも「野尻湖の夏合宿」は忘れられない大切な思い出の一つです。

一日一万歩

内田 孝(昭和36年卒)

昨年の7月25日に大動脈解離で41日間の入院をしました。十一月からリハビリのつもりで、少々の雨の日も毎日一万歩を歩くことにして今でも続けています。ねらいは、動脈や毛細血管をほぐして弾力を取り戻し血流をスムーズにして血圧を下げることです。また歩くことにより

OFF TIME

歌舞伎に親しむ

鶴岡 泰明(昭和40年卒)

二〇〇三年正月の事、出雲の阿国が京で「歌舞伎踊」を始めからちようど400年。新春顔見世興行で昼の部、夜の部ずらりと歌舞伎役者が勢揃い。人気が上々、正月気分も今迄とはちよつと違った感じであった。これを機に歌舞伎会の会員になり毎月のように歌舞伎座へ通うようになってしまった。案内人は解説者である妻と義母。兩人ともその道にはかなり詳しく家系は勿論のこと、役者の特長、演目の内容等も良く知っている。で、話の筋を聞きながら観劇のマナーも教えてもらっている。昨年5月、市川新之助が11代

目市川海老蔵を襲名した。昼の部で市川家が作り上げた荒事の代表作である歌舞伎十八番から「暫」を、夜の部では「勧進帳」を団十郎共演で楽しませてもらった。

今年3月には十八代中村勘三郎襲名披露があり、3月、4月5月と大忙し。その人柄、芸に対する情熱、演技は夢やパワータと与えてくれる。歌舞伎は奥が深い。とても簡単に語りつくせない。ほんの入口に立ったばかりでわからないことばかりだが、世話もの、時代もの、人情もの、古典ものなど、歌舞伎の世界をもっと勉強していきたいと思っている。果たしてこれが私のささやかな老後の楽しみになるかも知れない。

古希誕生

児玉 圭誠(昭和37年卒)

バンコクの菅野君の古希を祝う同期会を八月、18名が参加して東京で開催した。タイガースでは断トツで古稀誕生だが、現役バリバリ、タイ最大手の鉄鋼会社の副社長である。同年輩のオーナー社長から「あと10年は一緒にやりましょう」と絶大な信頼も寄せられている。現地の早慶OBゴルフでは見事に優勝日本人会の文化祭ではオペラ歌手顔負けの美声で聴衆を魅了した。公私共に大活躍である。

第二の人生を運ぶ!

泉 雄次郎(昭和38年卒)

2月2日午後3時から銀座2丁目のレストラン・モルチエで同期会開催。卒業以来赴任地の関係で御無沙汰していた緒方君をはじめ、栗林君、平野君、増田君、小作さんらの出席のほか、パプア・ニューギニアでJICA Aシニア・ボランティア活動中一時帰国の古谷君ら29名にのぼる参加者で大盛会となった。大で教鞭をとる、磯村君、塩見(法)君、東後君は丁度入試とぶつかって参加できなかった様子である。またTV会社トップとして意欲満満?に働いている奥田君は勤務地が福岡の為やはり今回も欠席となった。しかし個人企業のトップながらいつも

浅草・回島を散策

安齊 洋一(昭和39年卒)

三社祭の人数で賑わう浅草に「和龍会」(昭和三九年卒の会)のメンバーが続々と集合。時は二〇〇五年5月21日昼。まずは、「大黒屋」のてんぷらで腹ごしらえ。食後、観音様から隅田川沿いを散策。そよ風が心地良い。風も揚がっている。向島界隈のお寺さんはいくつかハシゴして、お団子屋さん立ち寄り。御用とお急ぎでない方は、吾妻橋の袂にある西口勇君のお宅におじゃまする。ビールを飲んで談論風発。西

会費納入のお願い

「稲門英語会」は皆様の会費によってすべてが運営されています。今年度会費をまだ納入されていない方は、ご入金をお願いいたします。年会費は三千元です。口座名義は「稲門英語会」。お手数ですが、必ず卒業年次をお書きください。

◆郵便振替/郵便振替口座: No. 00100-4-9538 (同封の郵便振替用紙をご利用ください)
◆銀行振込/UFJ銀行 虎ノ門支店(店番332) 普通預金口座: No. 152412
みずほ銀行 虎ノ門支店(店番046) 普通預金口座: No. 2283024
◇口座自動引落をご利用の方で、金融機関名・支店名・口座番号が変更になった場合は変更届をご提出ください。また、自動引落の登録をご希望の方は事務局までご連絡ください。

視野を広げる朝食会

国際研修会

満十年目に入ったWESS国際研修会(朝食会)は、テーマがビジネスから文化までと広がってきました。2月15日に財団法人日本交響楽振興財団事務局長の安齊洋一氏(39年卒)からオーケストラ音楽の普及について、6月16日に(株)XEVEV代表取締役の永島正樹氏(43年卒)から米国の環境問題と企業経営についてのお話を伺いました。10月13日にはNY在住の旅行ジャーナリスト増田和美さん(43年卒)の「豪華客船による船旅」という楽しいお話がありました。多忙なメンバーも多いWESS国際研修会ですが、朝のひと時、新たな知識の獲得と先輩・後輩の輪を広げる貴重な場となっています。参加希望者は稲門英語会事務局の日本アド遠藤さんまで(FAX:03-3207-1803) Eメール:wess@jpn-ad.co.jp) また、自薦、他薦を問わず講師募集中です。下記幹事までご連絡下さい。 関根次郎 (Tel:03-5798-4793 jsekine@attglobal.net) 平松昌雄 (Tel:03-5282-3371 mhiramatsu@delprado.co.jp) 矢澤洋一 (Tel:03-5259-2675 yvazawa@nikkeibp.co.jp)

◆総会・忘年会のご案内ー会場が変わりますー◆今年度の総会・忘年会は12月8日(木)18時から。場所「プレスセンター内アラスカ」Tel.03-3503-1272 会費五千元。多数ご参加ください。

引退後、これから勝負!

山内 正樹(昭和41年卒)

予断をまじえず言うWESSが最盛期だったのは昭和38(9)年頃。その「WESS団塊の世代」の諸先輩に続き、我々も次第に現役職場を退いて悠々の生活を送る年代となっている。その一人、北九州市に引退した中村勝利君をこの夏訪ねた。彼は高校の同級生グループをまとめて、毎月一回の会合を主宰、飲み会やゴルフ、地元大学の成人講座参加などを積極的に展開。アウトドア活動、登山などもして「今年は九重連峰の縦走もした」と、日焼けした顔で自慢していた。「これからは健康と友達だ」とも……そう、学生時代は、みんな集まってやっていた。WESSの陋習もうましく生かして、これから勝負!

ガキも還暦?

丸山 浩(昭和42年卒)

戦後60年、ガキの会メンバーも60歳。昨年11月6日、37年の時空を超えて27名(会員数57)が「還暦記念大(ダイ)ガキの会」を盛大に開きました。最高の秋日和に恵まれ、中村千恵子さん(白井聖地公園に眠って10年)の墓参を終え早稲田祭で賑わう高田牧舎に集合。インドネシア・東北・北陸・中部・関西等遠方からの9名を含む出席者全員の近況報告、欠席者24名のレター紹介、ACEや関西遠征の古いセピア色写真で暫し青春時代に戻りました。とんでもないよと追い返した還暦、古稀はまだまだ早いと突っ放し、急くな老いらくこれか

らよ、と喜寿までを全員で約束しお開きとなりました。

ナレの会報告

藤野 隆(昭和45年卒)

第8回ナレの会は、平成16年10月24日に35周年ホームカミングと同時に開催、非常に楽しい一日でした。皆、イベントやクラス会に参加後、ナレの会は神楽坂の「鳥茶屋」という料理屋で午後四時開始。参加は史上最高の25名。話題もジーちゃん、パイチャンになったことから「ウチの子供達はまだパラサイト」まで幅ひろい話ができました。二次会は近くのスナックを貸し切り、カラオケとダーツ大会を行ない、見事ど真ん中に命じた女性には拍手喝采。最後は例によって校歌斉唱(?)とエールで楽しい一日は終わりました。次の同時開催は二〇一四年、全員健康で再会しましょう。勿論ナレの会は毎年やりますよ。

卒業30周年同期会

小倉 雅博(昭和50年卒)

我が昭和50年卒業組ははや卒業30年を迎えました。これを機に同期会を9月10日大隈会館にて開催致しました。これまでは海外駐在組が多く、15周年に8名、20周年に14名と少なかったが、今回は26名が出席し盛会でした。食事と歓談を挟み全員が楽しく懐かしい近況報告を行ない、予定の3時間を軽く超過。最後は校歌斉唱とエールで締め括りました。

声を掛け合おう

田中 優行(昭和54年卒)

昨年4月に地方勤務より6年半振りに東京に異動になりました。実家が横須賀故、益暮れに

海外食文化

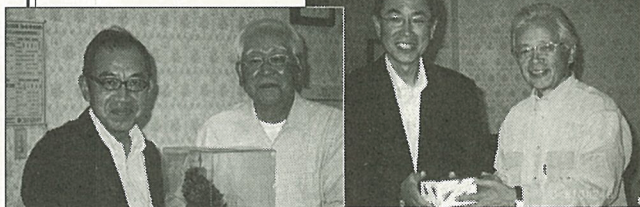
駒田 一彦(昭和57年卒)

早稲田E.S.S時代は、「将来は海外で仕事をしたい」などと夢見ていた。しかし就職し20数年が経ち、いまや否が応でも飛行機で海外に飛ぶ生活だ。こんな生活の中で、改めて海外は広く様々な歴史、文化の民族があることを思い知らされる。英語が通じない地域があることは当たり前であるが、言語同様に異なる食文化の違いは大変おもしろい。最近業務上韓国によく行く。近い国で似てるようだが、まるで違う部分がおもしろい。ある日の昼食で出された物は全てが激辛であった。あまり辛さに強くない私は頭部から噴き出す汗を処理しながら懸命にいただいた。WESS時代に抱いていた国際ビジネスとは、なかなか甘いものではない。

ゴルフ同好会から

先輩も後輩も、いろいろの表情で格闘する稲門英語会ゴルフコンペは第22回を迎えました。紳士淑女の集まりには、毎回40~50名の参加者達が「ゴルフクラブ」とやらに意図的に難しく作られた道具を持ち寄り、小さなホールを小さなホールに入れるだけの技と格闘しています。いくら友好的にミス無く振舞っても、意地悪な道具のお陰で言う事かぬホールを目にして、自暴自棄、自己嫌悪、自信喪失に襲われるゲーム。ゴルフとはプレートショットの連続であるどころか、ミスの連続でありミスの少ない者の勝利とは、正に滅点主義のお手本。でも滅点しすぎて80を切ったらビジネスは大丈夫?と問われる矛盾。いろいろの格言を生み出すゲームを通じ、自然と親しみ、体を動かし、一緒に芝を踏みながら笑い楽しむ、いつでも和やかワイワイがやがやの楽しき集まりがWESSです。20回の節目には皆で伊東先生の80歳のお祝いをし、感激、感謝。年に2回の少ない集まりですが、皆様是非ともご参集下さい。I play with friends, but we don't play friendly games.

ゴルフ幹事: 毛利憲勝 吉川通子 (S48卒) 大会優勝写真



▲伊藤先生、堂々の6位入賞 ▲井口シングル、三留先輩よりベストスコア賞

同期の快挙

涌井 弘行(昭和60年卒)

毎年の中嶋君の幹事宣言も空しく、同窓会は開催されておられません。私達の年代は良くも悪くも公私共に忙しく、そのことはお互いに良くわかっていまして、誰も中嶋君に文句を言いません。

夏の恒例

富士原 透吾(平成13年卒)

いつから夏合宿を「大夏」と呼ぶようになったのでしょうか? 我々にとって、99年の夏は本当に大きな大きな夏でした。どれ程かという点、今年もまた大夏にやっつけてしまった程。夏になるとあの感覚がフラッシュバックする面々が今年も15人集

WESSで得たもの

堀 光太郎(昭和62年卒)

WESSを離れて何年も経っているのに、「あ、これはWESS

会社訪問と個人情報

毎年E.S.Sの現役学生とOBとの就職懇談会を行なってきました。少しでも学生の助けになればとの趣旨です。

しかし個人情報保護法が今年の4月に施行されたことにより事情が複雑になってきました。個人の了解なしにOB名簿を取り扱うことが難しくなってきました。これまで学生が先輩の会社を訪問する際、事務局が情報を提供していましたが、厳密には勝手にOBのリストを学生に渡せません。WESSの場合は事務局の判断で必要なOBの名前と会社名を教えるつもりですが、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

稲門英語会事務局 坂田幸夫

WESS活動告知
11月12日、13日 「四大学英語劇大会」
場所 志木市民会館
12月17日 「大隈重信杯争奪 全日本英語弁論大会」
場所 大隈大講堂

合。もうかれこれ7度目の大夏です。それはもう惰性なのでは? と聞こえてきそうですが、「海の中であんなに全力で走る29歳になつてるとは!」と新しい自分に出会う人あり、「筋肉痛みたいになつて2、3日後に帰る」幸せにひたる人ありと、懐古趣味を超えた何かがいづれそこにはあります。来年の幹事もめでたく決定。我々の大きな夏はまだまだ続きます。

それはもう惰性なのでは? と聞こえてきそうですが、「海の中であんなに全力で走る29歳になつてるとは!」と新しい自分に出会う人あり、「筋肉痛みたいになつて2、3日後に帰る」幸せにひたる人ありと、懐古趣味を超えた何かがいづれそこにはあります。来年の幹事もめでたく決定。我々の大きな夏はまだまだ続きます。